

政策・施策評価（試行）  
外部評価結果の反映状況

平成 27 年 3 月



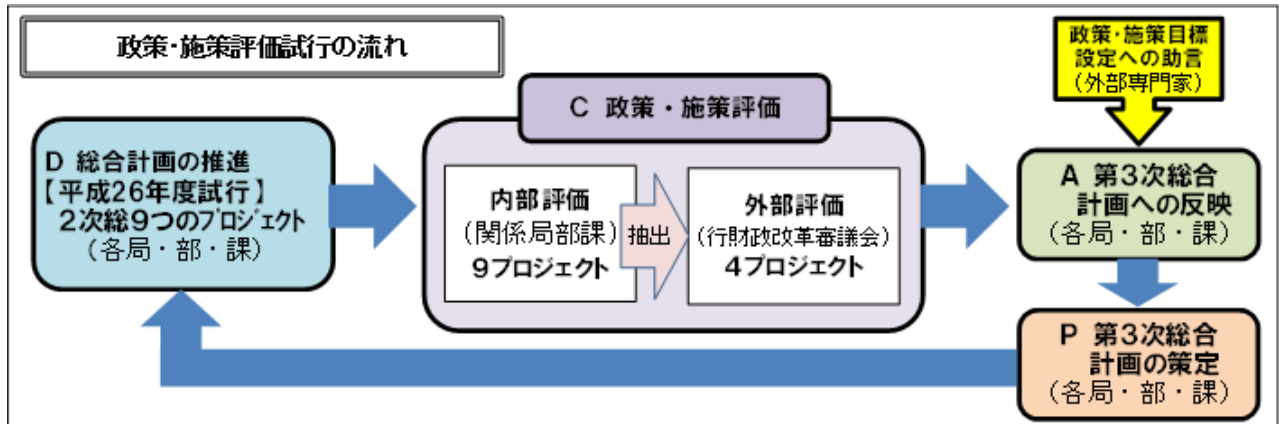
## 《 目 次 》

- 1 行財政改革推進審議会による外部評価（試行）の概要
- 2 評価結果の反映状況
  - (1) 各プロジェクト共通の課題
  - (2) 戦略Ⅰ－1 未来をひらく子どもプロジェクト
  - (3) 戦略Ⅱ－2 シティプロモーション推進プロジェクト
  - (4) 戦略Ⅲ－1 活力と交流のネットワークシティプロジェクト
  - (5) 戦略Ⅲ－3 魅力あふれる中山間地域活性化プロジェクト

# 1 行財政改革推進審議会による外部評価（試行）の概要

## (1) 外部評価試行の目的

- ①内部評価の結果を外部の視点から再評価し、第3次総合計画の政策・施策・主要事業に反映する。
- ②平成27年度以降の行政評価制度を構築するため、政策及び施策の評価における課題を抽出し、評価項目や評価方法を確認する。



## (2) 評価の対象

所管局部課が内部評価を行った第2次総合計画の9つのプロジェクトのうちから、3次総に引継がれる事業の多い次の4つのプロジェクトを選定し、対象とした。

- 【第1部会】 戦略Ⅱ－2 シティプロモーション推進プロジェクト  
戦略Ⅲ－3 魅力あふれる中山間地域活性化プロジェクト
- 【第2部会】 戦略Ⅰ－1 未来をひらく子どもプロジェクト  
戦略Ⅲ－1 活力と交流のネットワークシティプロジェクト

## (3) 評価の方法

- 【内部評価の検証】 構成する施策や事務事業の評価を踏まえ、指標の適確性、課題と原因、課題解決の方向を検証する。
- 【今後に向けての意見】 政策・施策の取組に対する評価・意見、3次総に向けた意見・提案を行う。

## (4) 評価の実施状況

- ①概要説明  
5月7日 政策・施策評価（試行）の概要説明
- ②活力と交流のネットワークシティプロジェクト・魅力あふれる中山間地域活性化プロジェクト  
6月11日 現地視察 6月20日 事前勉強会 7月2日 評価の実施
- ③未来をひらく子どもプロジェクト・シティプロモーション推進プロジェクト  
7月8日・9日 現地視察 7月22日・23日 事前勉強会 7月30日 評価の実施
- ④評価のまとめ・報告書作成  
8月8日 評価のまとめ 8月26日 報告書の確認、調整
- ⑤政策・施策評価（試行）外部評価報告書の提出  
9月12日 報告書を市に提出

## 2 評価結果の反映状況

### (1) 各プロジェクト共通の課題

#### 政策・施策評価の課題(報告書6頁)

外部評価委員からの提案・意見	反映状況
<p><b>(1) 政策・施策・主要事業の体系について</b></p> <p>政策・施策・主要事業の体系は、それぞれの繋がりが<u>関連性などがわかりやすいものを構築する必要がある。</u></p>	<p><b>【反映内容】</b></p> <p>3次総では、まちづくりの目標である『世界に輝く静岡』の実現のため、「賑わい・活気」「ひと」「まち」「安心・安全」の4つの要素に基づく10の分野を設定しました。</p> <p>各分野では、関係部局が主体となって、「世界に輝く静岡」を実現するための分野の役割を設定し、現状と課題の分析のもと、課題解決に向けた「政策」、政策を実現するための「施策」、施策を実現するための「主要事業」を体系的に取りまとめました。</p> <p>このように、外部評価委員からの意見を踏まえ、3次総のまちづくりの目標から、分野の政策・施策・主要事業まで連続したツリー状の体系を構築しました。</p>
<p><b>(2) 政策・施策の指標について</b></p> <p>政策、施策を評価するためには、<u>政策や施策が実現したかどうか判断できる指標の設定が重要である。</u></p>	<p><b>【反映内容】</b></p> <p>政策・施策の指標設定にあたっては、関係部局に対する説明会やヒアリング、ヘルプデスクを実施するなど、総務局、企画局、事業局が連携しながら進めてきました。</p> <p>しかし、<u>政策・施策の目標の達成状況が計測できる指標の設定を前提に検討したものの、事業の性質上、具体的な成果の測定が困難なものもあり、適切な指標が設定できていない政策・施策も見られます。</u></p> <p>これらについては、今後、<u>総合計画を進める中で、適宜、指標や目標値の見直しを行っていきます。</u></p>
<p><b>(3) 新制度への反映について</b></p> <p>①現地視察、事前勉強会、評価については、<u>事業を理解し、委員同士の議論を深めるため、もう少し時間が必要である。</u></p> <p>②政策・施策評価シートについては、記載する項目を整理し、<u>市民にもわかりやすいものとするべきである。</u></p> <p>③「貢献度」や「費用対効果」などを評価項目として取り入れる場合には、<u>定量的に評価することのできる基準を設ける必要がある。</u></p>	<p><b>【反映内容】</b></p> <p>静岡型行政評価制度には、外部評価委員からの意見を以下のとおり反映しました。</p> <p>①平成27年度中に外部評価委員を選任し、事前勉強会を開催して3次総の<u>政策や施策、主要事業に対する理解を深めたうえで、平成28年度から評価を実施するスケジュールとしました。</u></p> <p>②政策・施策評価シートは、評価後の市民への公表を前提に、<u>政策・施策の目的や評価の理由、課題、今後の方向性などを分かりやすく示したものとしました。</u></p> <p>③政策・施策評価には、<u>指標だけで評価するのではなく、指標の達成度を含め、政策や施策の目的がどの程度実現したのかを総合的に評価する方式を導入しました。</u></p> <p>また、政策評価において構成する施策を、施策評価において構成する主要事業を評価する際は、それぞれの必要性と方向性(存廃、範囲、手法、予算、人員)により評価することとしました。</p>

## (2) 戦略 I - 1 未来をひらく子どもプロジェクト

政策「未来を築く元気な子どもをみなで支え、大切にすまのちの実現」(報告書 10 頁)

外部評価委員からの提案・意見	反映状況						
<p><b>(1) 外部評価の結果</b>  <b>ア 教師のゆとりについて</b>            家庭や地域との連携において重要となるのが教師の「ゆとり」である。<u>教師が主導的に家庭や地域と関わりを持つことのできる「ゆとり」をつくりだすことに、取り組むべきである。</u>            また、教師が「ゆとり」を持つことで、じっくりと子どもたちに対応することができるため、<u>児童虐待の早期発見にもつながるもの</u>と考える。</p>	<table border="1" data-bbox="762 409 1457 611"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>5 子ども・教育</td> </tr> <tr> <td>政策(施策)</td> <td>03 地域社会や世界で力を発揮できる人材を育成します(施策) 03 未来へ向けた教育環境の整備</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b>            3次総では、市立小中学校適正規模化検討事業やICT推進事業により、<u>効率的で効果的な教育環境を整備するとともに、教員の負担を軽減し、「ゆとり」を生み出すことで、子どもや地域と向き合う時間を確保するため、校務支援システムの導入等</u>を検討していきます。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	5 子ども・教育	政策(施策)	03 地域社会や世界で力を発揮できる人材を育成します(施策) 03 未来へ向けた教育環境の整備
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	5 子ども・教育						
政策(施策)	03 地域社会や世界で力を発揮できる人材を育成します(施策) 03 未来へ向けた教育環境の整備						
<p><b>(2) 内部評価に対する意見</b>  <b>ア アンケート結果の活用について</b>            代表指標「静岡市は安心して子育てできるまちだと思ふ市民の割合」は市民アンケートの結果によるものである。これは年齢や地域などによって回答が大きく違うと考えられることから、<u>結果の全体像を見るだけでなく、階層別の分析を行い、多角的に活用すべきである。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 947 1457 1115"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>5 子ども・教育</td> </tr> <tr> <td>政策</td> <td>01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b>            3次総においても市民アンケートの結果を指標としており、政策、施策はアンケート全体の結果をもって達成状況を判断することにしてはいますが、<u>主要事業の検討の際には、地域別や年齢別など必要な分析を行いその結果を活用しており、また今後についても政策、施策、主要事業の見直しに結び付けていくこと</u>としています。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	5 子ども・教育	政策	01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	5 子ども・教育						
政策	01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します						
<p><b>(2) 内部評価に対する意見</b>  <b>イ 子どもに関する課題について</b>            0歳～18歳までの子どもが育っていく間には、様々な問題があるため、<u>待機児童対策だけでなく幅広い視野で課題を抽出し、その解決策を考えていくべきである。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 1485 1457 1585"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>5 子ども・教育</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b>            子どもの育ちや子育てには多様なニーズや様々な問題があることから、3次総においては、<u>男女の出会いや不妊、待機児童対策、子どもの体力と学力、子どもの貧困、児童虐待、ひきこもり、親の問題など、課題を幅広く捉え、これらを解決するため、4つの政策、15の施策を掲げ</u>ています。            これらを総合的に実施していくことで、目指す「健やかで、たくましく、しなやかに生きる力をもった子ども・若者が育つまち」を実現していきます。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	5 子ども・教育		
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	5 子ども・教育						

**(3) 今後に向けて**

**ア 企業やNPO法人等との協働について**

これからはハードの整備もソフト事業の充実も、全てを行政単独で行うことは難しい。

そのため、新しい公共の考え方を取り入れ、行政と民間企業やNPO法人などが協働し、また役割分担して事業を進めるべきである。

民間企業にも子育て支援サービスを充実させる動きがあることから、それを行政が後押しする取組なども必要と考える。

反映した3次総の分野・政策・施策

分野	5 子ども・教育
政策	01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します

**【反映内容】**

これから、子どもの育ちや子育て家庭を支援していくためには、企業やNPOを含め地域全体で支える環境づくりが重要です。

そのため、3次総においては、私立認定こども園・保育所等施設整備事業などで民間活力の導入を進めることとしており、事業所等における保育施設整備の促進事業、「静岡市子育て支援団体連絡会」運営事業などで、民間企業や団体の事業を後押しする取り組みを進めていきます。

## 施策①「安心して子育てができるまちづくり」(報告書12頁)

外部評価委員からの提案・意見	反映状況						
<p><b>(1) 外部評価の結果</b></p> <p><b>ア 協働の相手方の育成について</b></p> <p>これまで待機児童対策は、施設整備を中心に進めてきたが、今後はこれにソフト事業を融合させ、施設を効果的に活用していくことが求められる。</p> <p>それには<u>行政と民間企業、NPO法人などとの協働によって進めることが重要であるが、この場合は協働の相手方の育成も含めて考えるべきである。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 315 1455 533"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>5 子ども・教育</td> </tr> <tr> <td>政策(施策)</td> <td>01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します(施策) 03 子育てと仕事の両立支援の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>3次総では、幼児期の教育・保育や放課後児童クラブへのニーズ(需要)に対する供給量の確保について、<u>民間の参入や民間との協働等、民間活力の活用を図ること</u>にしています。</p> <p>なお、その際には、民間企業やNPO法人等に対して、<u>行政が適切な支援を行っていきます。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	5 子ども・教育	政策(施策)	01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します(施策) 03 子育てと仕事の両立支援の充実
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	5 子ども・教育						
政策(施策)	01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します(施策) 03 子育てと仕事の両立支援の充実						
<p><b>(2) 内部評価に対する意見</b></p> <p><b>ア 施策の指標について</b></p> <p>代表指標は、「主な子育て支援サービスの認知度」を掲げているが、認知だけでは施策の目的である「安心して子育てができるまち」を実現することはできないため、<u>サービスの「満足度」を併せて指標とすべきである。</u></p> <p><u>「満足度」につながる「サービスの質の向上」を考えていく必要がある。利用者の声を聞いて、サービスを向上させることを課題として捉えてほしい。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 848 1455 1106"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>5 子ども・教育</td> </tr> <tr> <td>政策(施策)</td> <td>01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します(施策) 01 子どもを産み育てることに安心感と喜びを感じる環境づくり</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>3次総では、子育て支援サービスに関する施策として「子どもを産み育てることに安心感と喜びを感じる環境づくり」を掲げており、<u>その指標として「子育て支援センターの満足度」を設定し、子育て支援サービスの周知だけでなく、質的向上を図っていきます。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	5 子ども・教育	政策(施策)	01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します(施策) 01 子どもを産み育てることに安心感と喜びを感じる環境づくり
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	5 子ども・教育						
政策(施策)	01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します(施策) 01 子どもを産み育てることに安心感と喜びを感じる環境づくり						
<p><b>(2) 内部評価に対する意見</b></p> <p><b>イ 子育て支援サービスの周知について</b></p> <p>子育て支援サービスを必要としている人たちには、必要な情報が必ず届くように配慮しなければならない。<u>ICTの活用が不十分ではないかと思われる。</u></p> <p>更には一方的に情報を提供するだけでなく、<u>相談や問合せなど、双方向でやり取りのできる仕組みも考える必要がある。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 1435 1455 1581"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>5 子ども・教育</td> </tr> <tr> <td>政策</td> <td>01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>必要な人に必要な情報が届く体制、気軽に子育ての相談ができる体制の整備、また有効な情報ツールの選択・活用は重要です。</p> <p>そのため、<u>昨年8月には、「子ども未来局公式ツイッター」を開設し、子育て世帯に身近なツールを活用した情報提供を実施</u>しています。</p> <p>また、3次総では、認定こども園、保育所をはじめとする子育て支援の利用全般について、<u>相談や情報提供を行う子ども未来サポーターを増員し、利用者への支援を充実させていく</u>とともに、情報提供体制の充実を図っていきます。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	5 子ども・教育	政策	01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	5 子ども・教育						
政策	01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します						



### (3) 今後に向けて

#### ア 子どもの貧困と虐待への対応について

近年、大きな社会問題となっている子どもの貧困と虐待に対しては、市として積極的に取り組んでいくべきである。

これらは、子どもだけの問題ではなく、大人の問題につながっており、貧困や虐待の経験を持つ大人が、様々な心の問題を抱えるケース、貧困や虐待を繰り返してしまうケースなどが見られる。

子どもと常に接している教師が、ゆとりをもって子どもたちに対応できる体制をつくるとともに、教師、保育士、民生委員、ケースワーカー、カウンセラーなどの子どもや地域に関わる人々が認識を共有し、研修する場が必要ではないかと考える。

#### 反映した3次総の分野・政策・施策

分野	5 子ども・教育
政策	04 すべての子ども・若者が、置かれた環境にかかわらず、生き活きと輝く環境づくりを推進します

#### 【反映内容】

3次総においては、子供の貧困対策推進事業や児童虐待防止対策推進事業、児童相談体制の確保事業により、困難を抱える子ども、若者とその家庭の支援を一層充実していくこととしています。特に、子どもの貧困対策については、子どもの貧困対策推進計画を新たに策定し、ひとり親家庭や生活困窮世帯の子どもや保護者への支援を推進していきます。

また、学校においては、こころのケアの推進事業やスクールソーシャルワーカー活用事業などにより、生徒指導を行う教師の代わりに授業を担当する非常勤講師や保健室業務を補助するパート看護師を配置するとともに、スクールソーシャルワーカー一等を配置し、担当者会議などを通して連携を密にして問題の解決にあたることとしています。

## 施策②「地域での子育てと子ども自らの育ちを支援するまちづくり」(報告書 14 頁)

外部評価委員からの提案・意見	反映状況						
<p><b>(1) 外部評価の結果</b></p> <p><b>ア 家庭・地域・学校の連携について</b></p> <p>これからは家庭、地域、学校が連携して、子育て・子育てを進めていくことが更に重要となる。2次総では、この家庭、地域と学校が連携する事業が少なかったことから、3次総では、この分野に力を入れていくべきである。</p> <p><u>家庭や地域の問題意識は、必ずしも学校と同じではないため、三者の対話を重視して意思疎通を図るべきであり、一步踏み出して、教育委員会や学校が主導的に動き、これからの家庭や地域のあり方を議論する必要がある。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 315 1453 533"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>5 子ども・教育</td> </tr> <tr> <td>政策(施策)</td> <td>02 学校・家庭・地域が連携して、社会を生き抜く力をもった子どもたちを育てます (施策) 03 学校・家庭・地域の連携強化</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>社会を生き抜く力をもった子どもたちを育てていくためには、学校・家庭・地域が連携していくことが重要であることから、3次総では、この連携強化を施策として掲げています。</p> <p>この施策では、<u>全ての小中学校において地域のボランティアによる学校応援団の組織化を推進する学校応援団推進事業を実施するとともに、コミュニティ・スクール推進事業により、モデル校において学校運営協議会制度の実践研究を進めることとして</u>います。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	5 子ども・教育	政策(施策)	02 学校・家庭・地域が連携して、社会を生き抜く力をもった子どもたちを育てます (施策) 03 学校・家庭・地域の連携強化
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	5 子ども・教育						
政策(施策)	02 学校・家庭・地域が連携して、社会を生き抜く力をもった子どもたちを育てます (施策) 03 学校・家庭・地域の連携強化						
<p><b>(2) 内部評価に対する意見</b></p> <p><b>ア 子育ての視点について</b></p> <p>施策は「地域での子育て」と「子ども自らの育ち」がキーワードになっているが、3つの代表指標「子どもに関する活動に参加している市民の割合、ファミリーサポート会員数、学校応援団実施校」は、「地域での子育て」に関連するもので、<u>「子ども自らの育ち」の視点が欠けている。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 1014 1453 1106"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>5 子ども・教育</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>3次総では、<u>子どもの育ちの視点や子ども本位の視点を、全ての政策、施策の推進において重要視することとしています。</u></p> <p>そのため、例えば自己有用感、自己肯定感など、子どものあられに関する成果指標を複数設定しています。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	5 子ども・教育		
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	5 子ども・教育						
<p><b>(2) 内部評価に対する意見</b></p> <p><b>イ ファミリーサポート事業について</b></p> <p>ファミリーサポート事業については、ただ会員数を増やすということではなく、<u>利用者の満足度などにより、質を問うべきである</u>と考える。</p>	<table border="1" data-bbox="762 1413 1453 1653"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>5 子ども・教育</td> </tr> <tr> <td>政策(施策)</td> <td>01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します (施策) 04 子どもと子育て家庭を支える地域づくり</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>ファミリーサポート事業については、今後、<u>更に拡大を図っていく必要がある</u>ことから、3次総においても会員数を指標としていますが、「まかせて会員」に対する研修を一層充実させていくなど、その<u>運営や事業の検証にあたっては、サービスの質に留意</u>していくこととしています。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	5 子ども・教育	政策(施策)	01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します (施策) 04 子どもと子育て家庭を支える地域づくり
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	5 子ども・教育						
政策(施策)	01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します (施策) 04 子どもと子育て家庭を支える地域づくり						

## (2) 内部評価に対する意見

### ウ 親と子のつながりについて

内部評価では、課題の原因の一つとして「子どもと地域社会のつながりの低下」を挙げているが、それ以前に家庭における親と子どものつながりの問題が根底にあるのではないかと思われるため、これにも焦点を当てていく必要がある。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	5 子ども・教育
政策(施策)	01 しずおか総がかりで子ども・子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します(施策) 03 子育てと仕事の両立支援の充実 04 子どもと子育て家庭を支える地域づくり

#### 【反映内容】

親と子の良好な関係や、その基礎となるワークライフバランスの実現は、子どもの健やかな育ちにとって非常に重要な要素となります。

そのため、3次総では、ワークライフバランスの推進事業など、親と子のつながりを深める支援を行っていきます。

## (3) 今後に向けて

### ア 教師のための教育事業について

これからは、子どもの学力や体力の向上に目を向けながらも、子どもたちに直接対応する教師の育成環境を整備することが重要となる。

しずおか教師塾のような教師のための教育事業に、更に力を入れるべきと考える。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	5 子ども・教育
政策(施策)	02 学校・家庭・地域が連携して、社会を生き抜く力をもった子どもたちを育てます(施策) 02教育力の向上

#### 【反映内容】

教職員の資質は、子どもの育ちに大きな影響を及ぼすことから、その向上を図るため、今後も若手からの段階的な研修や様々な教育課題に応じた研修を実施していきます。

特に3次総においては、情熱と使命感を持った小学校教諭を確保するため、しずおか教師塾を充実させていきます。

### (3) 戦略Ⅱ-2 シティプロモーション推進プロジェクト

#### 政策「人々や経済の交流が活発なまちの実現」(報告書18頁)

外部評価委員からの提案・意見	反映状況													
<p>(1)外部評価の結果</p> <p><b>ア 地域経済活性化の取組について</b></p> <p>当政策は、観光・交流や企業誘致を図ることで、最終的に地域経済を活性化させることが目標であることから、「久能山東照宮」や「三保松原」、「浅間神社」など、<u>①本市の魅力ある地域資源を有効活用し、観光・交流人口を増加させることで経済活動を活発化させる</u>とともに、<u>②企業誘致や企業留置により、雇用が確保されるよう、積極的に取り組むことが重要である。</u></p>	<p>①観光・交流人口の増加</p> <table border="1" data-bbox="758 456 1449 963"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>1 観光・交流</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">政策 (施策)</td> <td>01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します (施策) 02 世界に認められた地域資源のみがきあげ 03 徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ 観光振興</td> </tr> <tr> <td>02 国内外からの誘客と交流を推進します (施策) 01 静岡市ならではの資源を活用したシティプロモーションの推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>【反映内容】</p> <p>本市の地域資源を有効に活用して、これを観光に結び付けていくため、3次総では、三保松原ビジターセンター建設事業や歴史文化施設建設事業などの<u>ハード事業</u>と、家康公が愛したまち静岡プロジェクトやさきがけ博物館事業などの<u>ソフト事業</u>の両面から地域資源の活用を進めていくこととしています。</p> <p>そして、これらハード・ソフト事業に「静岡市はいいねえ。」キャンペーンや首都圏等でのプロモーション事業を組み合わせ、国内外から観光・交流人口増加を目指しています。</p> <p>②企業の誘致・留置</p> <table border="1" data-bbox="758 1469 1449 1688"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>3 商工・物流</td> </tr> <tr> <td>政策 (施策)</td> <td>01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します (施策) 03 企業の誘致と留置の推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>【反映内容】</p> <p>市外企業の誘致と市内企業の留置を進めていくため、3次総では、<u>企業立地促進事業において、企業訪問等による企業ニーズや動向の把握、立地に係る助成、開発可能性調査などを行う</u>とともに、<u>必要な情報を積極的に提供し、雇用の確保を実現して</u>いきます。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	1 観光・交流	政策 (施策)	01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します (施策) 02 世界に認められた地域資源のみがきあげ 03 徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ 観光振興	02 国内外からの誘客と交流を推進します (施策) 01 静岡市ならではの資源を活用したシティプロモーションの推進	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	3 商工・物流	政策 (施策)	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します (施策) 03 企業の誘致と留置の推進
反映した3次総の分野・政策・施策														
分野	1 観光・交流													
政策 (施策)	01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します (施策) 02 世界に認められた地域資源のみがきあげ 03 徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ 観光振興													
	02 国内外からの誘客と交流を推進します (施策) 01 静岡市ならではの資源を活用したシティプロモーションの推進													
反映した3次総の分野・政策・施策														
分野	3 商工・物流													
政策 (施策)	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します (施策) 03 企業の誘致と留置の推進													

## (2) 内部評価に対する意見

### ア 事業のスクラップアンドビルドについて

観光客を全市的に周遊させ、継続的に観光客誘致を進めていくためには、既存事業のブラッシュアップだけでなく、事業の効果と必要性を踏まえ、スクラップアンドビルドの観点で見直しを図るべきであり、今後は、「課題と原因」を適確に捉え、その解決に向けた取組を確実に実施していくよう努めていただきたい。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	1 観光・交流
政策 (施策)	01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します (施策)
	03 徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ観光振興
	03 来訪者が再び訪れたいくなる受入態勢づくりを推進します (施策)
	01 来訪者の満足度を高める受入環境の充実

#### 【反映内容】

市内の観光地を有機的につなげ、継続的な集客や観光客の周遊化を図ることは、「国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまち」を実現するためには必要な要素となります。

そのため、利用率が低迷している「清水見どころ観光バス事業」などを廃止し、3次総では、本市の歴史文化の情報発信や歴史観光の拠点施設となる歴史文化施設の建設事業や東海道歴史街道二峠六宿まち歩き観光推進事業、観光自転車ネットワーク事業等の観光施設をつなぐ事業を進めていくなど、課題と原因を捉え、解決に向けた取組を実施していきます。

## (3) 今後に向けて

### ア 民間企業との連携について

地域経済を活性化させるためには、観光・交流の促進、産業の振興、物流の発展など様々な側面があるが、限られた財源の中、行政主導で全ての事業を充実させることは難しいと考えられる。

このため、今後は、市の有する特徴や魅力ある豊富な地域資源を民間企業と連携し、効率的にPRするとともに、有効活用することで観光誘致や経済活動に繋げていくことが重要である。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	1 観光・交流
政策 (施策)	01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します (施策)
	03 徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ観光振興
分野	3 商工・物流
政策 (施策)	03 陸・海・空の社会基盤を活かしたロジスティクス産業の拡大を推進します (施策)
	02 清水港を中心とした広域物流の促進

#### 【反映内容】

3次総では本市の特徴である、家康公や清水港といった地域資源をPRし、活用していくため、民間企業と連携して「家康公が愛したまち静岡」プロジェクトや、清水港ポートセールス事業などを推進し、観光客誘致や経済活動に繋がるよう取り組んでいきます。

**(3) 今後に向けて**

**イ 人脈を駆使したネットワークづくりについて**

2次総では、政令指定都市としての都市基盤づくりが中心であったため、ハード事業が多く存在していたが、これからは、「市民意識」、「芸術」、「歴史」、「伝統文化」など、①ソフト事業を中心に展開するとともに、②市内外の「人脈」を駆使したネットワークづくりに力を入れ、組織的で質の高いプロモーション活動を展開することで、地域経済の活性化に繋げていただきたい。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	1 観光・交流 4 文化・スポーツ

**【反映内容】**

3次総においては、静岡の文化を国内外に発信し、観光・交流を活性化させていくため、「観光・交流」分野では、①家康公が愛したまち静岡プロジェクトや伝統芸能芸妓の振興による地域活性化事業など、文化・スポーツ分野では、大型文化事業の誘致事業や人材養成塾事業などのソフト事業を実施することとしています。

また、国内観光プロモーション推進事業やMICE誘致推進事業によって、②東京事務所等が有する人脈を活用し、首都圏でのプロモーションやMICE誘致に向けた取り組みを進めていきます。

**(3) 今後に向けて**

**ウ 政策・施策体系の見直し**

観光や産業振興など地域経済の活性化に関わる全ての事業を、1つの政策に集約化しているため、政策・施策・主要事業における関連性や重要性などが非常に分かりにくい。

また、異なる施策に複数の主要事業が再掲されており、施策に対する主要事業の優先順位や貢献度が違うことにも違和感がある。

3次総を策定する際は、政策・施策・主要事業の体系について、繋がりや関連性などが、分かりやすくなるよう見直しが必要である。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	1 観光・交流 3 商工・物流

**【反映内容】**

3次総においては、まちづくりの目標から分野の政策・施策・主要事業までのつながりを明確にするため、ツリー状の政策体系を構築しています。

地域経済活性化に関わる政策体系も、「観光・交流」と「商工・物流」の2つの分野に分け、それぞれの分野ごとに、分野の役割を設定し、分野の課題解決に向けた「政策」、政策の目的を実現するための「施策」、施策の目的を実現するための「主要事業」として体系的に取りまとめています。

## 施策①「競争力のある観光資源づくり・シティイメージの定着」（報告書20頁）

外部評価委員からの提案・意見	反映状況						
<p><b>(1)外部評価の結果</b></p> <p><b>ア 事業の面的整備について</b></p> <p>今後は本市の①目指す「<u>シティイメージ</u>」を明確にした上で、<u>事業にメリハリをつけ、優先順位付けを行う</u>など、<u>スポット的に印象づけるよう取り組む</u>とともに、<u>関連性を持たせることで、②各事業を点ではなく面で整備し進めることが重要である。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 324 1445 633"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>1 観光・交流</td> </tr> <tr> <td>政策 (施策)</td> <td>01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します 02 世界に認められた地域資源のみがきあげ 03 徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ観光振興</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>①シティイメージ</p> <p>3次総では、<u>目指す都市像の一つとして「歴史文化のまち」を掲げており、歴史文化の力を地域の活力へと展開させることを目指しています。</u></p> <p>これを実現するため、「観光・交流」分野では、駿府城公園桜の名所づくり事業や歴史文化施設建設事業など、<u>歴史文化に関わる事業に注力していくこと</u>としています。</p> <p>②事業の面的整備</p> <p>三保地区については、三保松原ビジターセンターの建設、羽衣公園整備、駐車場整備、三保駒越線の架空線の撤去、自転車道の整備などを<u>一体的に進めることにより、世界遺産「三保松原」を強くアピールしていきます。</u></p> <p>また、東海道歴史街道二峠六宿まち歩き観光推進事業など、施設・事業をテーマで結び、展開していく事業を実施していきます。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	1 観光・交流	政策 (施策)	01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します 02 世界に認められた地域資源のみがきあげ 03 徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ観光振興
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	1 観光・交流						
政策 (施策)	01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します 02 世界に認められた地域資源のみがきあげ 03 徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ観光振興						

## (2) 内部評価に対する意見

### ア 施策の指標について

施策の指標「お茶・マグロ・ホビー・サクラエビを国内外に誇れるものと思う市民の割合」は、ホビー以外は全て食材であり、①代表指標の範囲が狭い。静岡市には、②レベルの高い料理が数多く存在するため、「寿司・おでん」なども加え、もっとPRする必要がある。

#### 反映した3次総の分野・政策・施策

分野	1 観光・交流
政策 (施策)	01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します (施策) 01 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり 02 世界に認められた地域資源のみがきあげ 03 徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ観光振興 04 お茶、しずまえブランドなど食の魅力のみがきあげ 05 オクシズの魅力を活かす交流促進 06 スポーツを通じた魅力づくりの推進

#### 【反映内容】

##### ①代表指標の範囲

3次総では、観光資源に関わるものとして、食材のほか模型や歴史、オクシズなどを掲げており、6つの施策それぞれの指標として設定することで、指標の幅を広げています。

##### ②料理のPR

3次総では、「お茶、しずまえブランドなど食の魅力のみがきあげ」を施策として掲げ、これまでの「まぐろのまち」や「お茶のまち」に、しずまえ鮮魚の普及推進事業や静岡お茶漬けプロジェクトを新たに加えています。

これらの事業の中で、レシピコンクールや料理教室、PR活動を行うことで、消費拡大とブランド化を図っていくとともに、静岡おでんフェア等により食の魅力をPRしていきます。



### (3) 今後に向けて

#### ア 施設の特徴を強調したPRについて

「登呂遺跡・博物館」、「芹沢銈介美術館」、「ホビースクエア」など、市の歴史・文化・地場産業を代表する史跡や施設を有しており、工夫を凝らした企画展や体験学習等を実施しているが、効果的なPRがされておらず、誘客効果に結びついていないと考えられる。

今後は、各施設が有する特徴を強調したPRを展開するほか、デジタルサイネージ等を活用したアイキャッチ効果や各施設とのタイアップによる相乗効果などにより、集客力を向上させるよう取り組むことが必要である。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	1 観光・交流
政策 (施策)	01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します 01 模型の首都・静岡を活かした魅力づくり 03 徳川家康公を始めとした歴史に触れ親しむ観光振興
分野	4 文化・スポーツ
政策 (施策)	03 市民が芸術文化・スポーツを楽しむための支援を推進します 01 芸術文化活動への参加促進と人材育成の充実

#### 【反映内容】

効果的なPRは、地域資源を活用するうえで重要な取組であるため、3次総では、ホビーのまち静岡の推進事業や家康公が愛したまち静岡プロジェクトなどにおいて、全国・世界に向けて動画を配信することで施設やその特徴をPRしていきます。

また、登呂博物館や芹沢銈介美術館、ホビースクエア、市美術館、音楽館、科学館において同一のテーマによる企画展などを行うことで、相乗効果を発揮させるとともに、「文化活動を担う人材の発掘・育成・支援」事業により、子どもや若者などターゲットを絞った鑑賞・体験等を充実させ、集客力向上に取り組んでいきます。

### (3) 今後に向けて

#### イ おもてなしの接客について

静岡駅の目立つところに観光案内所を設置し、かつ、案内所の担当者のスキルアップを行い、おもてなしのところで接客できるインフラ等を整備していただきたい。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	1 観光・交流
政策 (施策)	01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します 02 世界に認められた地域資源のみがきあげ 03 来訪者が再び訪れたいくなる受入態勢づくりを推進します。 01 来訪者の満足度を高める受入環境の充実 02 来訪者に安らぎを与えるおもてなしの向上

#### 【反映内容】

観光案内所は、本市の観光の顔となることから、管理者・担当者会議や研修を通じて、スタッフの接客能力、説明能力の向上に努めるとともに「おもてなしのこころ」を浸透させていきます。

また、3次総では、建設を計画している三保松原ビジターセンターで多言語での観光案内を予定しているほか、来訪者受入環境の整備促進事業や観光自転車ネットワーク事業など、おもてなしの施設整備を進めていくこととしています。

### (3) 今後に向けて

#### ウ テンポラリーなインフラの設置について

これからの時代は、ハード面よりもソフト面の充実が必要であり、特に観光を支える最大の条件の1つは、「食」と考えられることから、従来の「食材」に「料理」という視点を加えて、シティイメージを定着させていく必要がある。

静岡の中心市街地に屋台といったテンポラリー(一時的)なインフラを設置し、観光資源のPRに繋げていくことも効果的と考えられるため、官民連携事業の1つの手法として、今後の参考としていただきたい。

#### 反映した3次総の分野・政策・施策

分野	1 観光・交流
政策 (施策)	01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します (施策)
	04 お茶、しずまブランドなど食の魅力のみがきあげ
	04 まちなかの魅力向上により賑わい創出を推進します (施策)
	01 まちなかの賑わいを生み出すイベントの推進

#### 【反映内容】

全国に誇る地域資源である「静岡おでん」の魅力を広く発信するために、中心市街地賑わい創出事業のなかで、屋台を活用した「静岡おでんフェア」を実施するほか、料理という視点で静岡をPRしていくため、静岡お茶漬けプロジェクトを推進します。

## 施策②「観光・交流の活性化」(報告書22頁)

外部評価委員からの提案・意見	反映状況							
<p><b>(1)外部評価の結果</b></p> <p><b>ア 地域資源の掘り起こしについて</b></p> <p>大規模なイベントが誘致できない原因を、コンベンション・宿泊施設が少ないためと捉えるのではなく、「<u>地場産品</u>」、「<u>伝統芸能</u>」、「<u>伝統工芸</u>」、「<u>自然環境</u>」などの資源の掘り起こしに努めて、これらの魅力ある資源を、<u>観光・交流の活性化に繋げていくことが重要</u>である。</p>	<table border="1" data-bbox="762 324 1453 555"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>1 観光・交流</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">政策</td> <td>01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します</td> </tr> <tr> <td>02 国内外からの誘客と交流を推進します</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>本市の持つ地域資源を活用して、誘客と交流を推進していくため、3次総では、<u>食材や模型、歴史、オクシズなどの地域資源を活用する6つの施策を掲げ、観光・交流の活性化を図っていくこと</u>としています。</p> <p><u>また、MICE誘致の推進事業では、これらの優位性を誘致活動に活かしていきます。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	1 観光・交流	政策	01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します	02 国内外からの誘客と交流を推進します
反映した3次総の分野・政策・施策								
分野	1 観光・交流							
政策	01 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します							
	02 国内外からの誘客と交流を推進します							
<p><b>(2)内部評価に対する意見</b></p> <p><b>ア ソフト面の充実について</b></p> <p>市民意識や地域資源の掘り起こしが不足しており、豊富な資源が十分活用されていないことが施策の主な課題・原因であると考えられるため、<u>今後、観光・交流を進める際は、ハード面よりソフト面を充実させるよう、検討いただきたい。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 911 1453 1008"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>1 観光・交流</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>本市の持つ様々な地域資源を更にみがきあげ、情報発信していくため、3次総では、<u>おらんとこのこれ一番事業や商店街アドバイザー派遣事業などのソフト事業を掲げており、これらを実施することで、交流人口の拡大を図っていきます。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	1 観光・交流			
反映した3次総の分野・政策・施策								
分野	1 観光・交流							
<p><b>(3)今後に向けて</b></p> <p><b>ア 市民意識の醸成について</b></p> <p>本市には、様々な魅力ある地域資源が存在している。</p> <p>このような貴重な資源を市民が認識しておらず、効果的なプロモーション活動が展開されていないため、本市の認知度向上に繋がっていないと考えられる。</p> <p>今後は、<u>①地域資源の魅力を再認識できるよう、市民意識の醸成を図るとともに、②「おもてなしの心」を市民全体が共有できるよう、積極的に働きかけていただきたい。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 1296 1453 1393"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>1 観光・交流</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>①地域資源の再認識</p> <p>観光・交流の活性化を市民や団体、民間企業とともに進めていくため、「観光・交流」分野では、<u>多くの主要事業を民間と協働で行うこと</u>にしています。</p> <p>これらの<u>協働事業を進めることが、市民の方々に改めて地域資源の魅力を認識してもらう機会となる</u>と考えています。</p> <p>②「おもてなしの心」の共有</p> <p>3次総では、「観光・交流」分野の課題の一つとして、「おもてなしの向上」を位置付けており、<u>民間との協働事業を進める過程で「おもてなしの心」を共有していきます。</u>特に、来訪者の受入環境の整備推進事業や静岡型体験観光の推進事業などで、<u>市民や事業者が自ら地域資源を活用した体験プログラムの開発などを行うことで、おもてなしの気運を醸成していきます。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	1 観光・交流			
反映した3次総の分野・政策・施策								
分野	1 観光・交流							

**(3) 今後に向けて**

**イ 効果的なプロモーションについて**

観光・交流を活性化させるには、本市の地域資源をいかにして効果的にプロモーションするかが重要である。

行政が主体となってPRすることも必要であるが、周知方法・範囲には限界があることから、民間企業と連携するなど企業メディアを効果的に活用することで、市の認知度と集客力の向上に努めていただきたい。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	1 観光・交流
政策	02 国内外からの誘客と交流を推進します

**【反映内容】**

「観光・交流」分野では、シティプロモーションやMICE誘致、外客誘致の推進事業などプロモーションに関わる主要事業を民間との協働事業とし、関係業界及び団体と連携したプロモーション活動を展開し、市の魅力の発信に取り組んでいきます。

**(3) 今後に向けて**

**ウ フィルムコミッションについて**

プロモーションの方法として、フィルムコミッションを行っているが、静岡市がオールロケ地となる映画など、PR力のある映画やドラマの誘致数は、まだ少ない状況である。

今後、本市の豊かな自然環境や貴重な文化財などを、効果的に活用することで、誘客効果が期待できることから、より積極的に取り組んでいただきたい。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	1 観光・交流
政策 (施策)	02 国内外からの誘客と交流を推進します (施策) 01 静岡市ならではの資源を活用したシティプロモーションの推進

**【反映内容】**

本市の強みである歴史文化や自然環境等を、映画やドラマを通して最大限にPRしていくため、3次総では、シティプロモーションの推進事業の中で、静岡商工会議所及び静岡観光コンベンション協会と協力して、フィルムコミッションに積極的に取り組んでいきます。

### 施策③「産業誘致と地域資源の商品化」(報告書24頁)

外部評価委員からの提案・意見	反映状況						
<p><b>(1)外部評価の結果</b></p> <p><b>ア 企業留置と商品開発について</b></p> <p>企業立地については、諸々の課題から他地域からの新規誘致は、非常に難しいと考えられるため、<u>①市内の企業が流出しないよう留置対策にも十分配慮するとともに、②商品開発については、消費者ニーズを十分把握した上で、効果的に販売に繋げていくよう、民間企業とより一層連携を図ることが重要である。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 315 1455 786"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>3 商工・物流</td> </tr> <tr> <td>政策(施策)</td> <td>01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します(施策) 03 企業の誘致と留置の推進 02 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります(施策) 01 新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進 02新製品・技術開発等に対する支援</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>①企業留置 市内企業を留置するため、3次総では、企業立地の促進事業において、<u>企業訪問等によるニーズの把握や必要な情報提供を行うほか、市内での事業拡大に向けた助成(用地取得、設備投資等)等を行ってまいります。</u></p> <p>②商品開発 3次総では、新商品開発事業やニューウェーブしずおか創造事業等において、<u>専門家のアドバイスなどを行い、より「売れる商品」の開発をねらいとした支援を実施してまいります。</u>また、国内外の展示会や見本市に出展又は開催する経費の一部を助成するなど、<u>新規取引先の獲得や販路拡大についても支援してまいります。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	3 商工・物流	政策(施策)	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します(施策) 03 企業の誘致と留置の推進 02 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります(施策) 01 新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進 02新製品・技術開発等に対する支援
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	3 商工・物流						
政策(施策)	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します(施策) 03 企業の誘致と留置の推進 02 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります(施策) 01 新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進 02新製品・技術開発等に対する支援						
<p><b>(2)内部評価に対する意見</b></p> <p><b>ア 都市型産業誘致の手法について</b></p> <p>市では、平地が少なく、地価が高いこと等を諸課題として捉えており、課題解決の方法として、バックオフィスやコールセンターの取組を挙げているが、現在、コールセンターはコスト削減を目的として、沖縄などへ地方展開する場合もある。</p> <p>今後は、<u>企業の動向やニーズを適切に見極め、本市のニーズにかなった企業にターゲットを絞るなど、効果的な都市型産業誘致の手法について、再検討する必要がある。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 1413 1455 1626"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>3 商工・物流</td> </tr> <tr> <td>政策(施策)</td> <td>01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します(施策) 03 企業の誘致と留置の推進</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>3次総では、新たな企業の誘致のため、企業立地の促進事業において、<u>企業訪問等による企業のニーズや動向の把握、開発可能性調査などを行い、本市と企業双方のニーズに合った誘致を行っていくこととしています。</u></p> <p>また、コールセンター(コンタクトセンター)については、オペレーター育成講座や活用セミナー等を実施して、優秀な人材を確保するとともに、市内での業務需要の掘り起こしなどを行い、効果的な誘致を目指してまいります。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	3 商工・物流	政策(施策)	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します(施策) 03 企業の誘致と留置の推進
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	3 商工・物流						
政策(施策)	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します(施策) 03 企業の誘致と留置の推進						

**(3) 今後に向けて**

**ア 市民意識の醸成について**

本市は地形的な理由から、南北の交通インフラが充実していなかったが、今後、「中部横断自動車道」が開通することで、産業誘致や物流等に大きな効果が期待できることから、その活用を十分検討し、地域経済の活性化に繋げていくよう努めていただきたい。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	3 商工・物流
政策 (施策)	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します (施策)
	03 企業誘致と留置の推進
	03 陸・海・空の社会基盤を活かしたロジスティクス産業 の拡大を推進します (施策)
	02 清水港を中心とした広域物流の促進

**【反映内容】**

中部横断自動車道の開通により、新潟、長野、山梨と静岡との物流環境が大きく変わるため、3次総では、企業立地の促進事業において、中部横断自動車道沿線の物流関連企業などへの情報発信やニーズ把握を行うほか、企業立地の最大の課題である用地の確保に向けた調査・検討を行うこととしています。

また、清水港ポートセールスの推進事業により、長野・山梨両県の企業に清水港活用を働きかけ、荷物確保に努めていきます。

## (4) 戦略Ⅲ－1 活力と交流のネットワークシティプロジェクト

### 政策「快適で質の高いまちの実現」(報告書28頁)

外部評価委員からの提案・意見	反映状況						
<p><b>(1) 外部評価の結果</b>  <b>ア 住みやすさの活用について</b>            静岡市は中心市街地がコンパクトにまとまり、その中に自然のある住みやすい場所である。<u>3次総に向けては、この住みやすさを活用して、快適で質の高いまちを目指すべきである。</u></p>	<table border="1" data-bbox="762 409 1458 689"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>6 都市・交通</td> </tr> <tr> <td>政策</td> <td>01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します 02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します 03 安心とるおいのある住環境の整備の整備を推進します 04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b>            3次総では、「都市・交通」分野の目標として、「快適で質の高いまちの拠点と交通環境を充実させ、新たな交流と活力を生み出すまち」の実現を掲げており、コンパクトな中心市街地や自然が隣接しているといった本市の特徴を活かしていくことが重要となります。            そのため「都市・交通」分野では、土地区画整理事業や市街地再開発事業等により、<u>都市機能の高度化・集積化を進め、都心・副都心の魅力にみがきをかける</u>とともに、これらの基盤整備を結び付け、<u>快適に移動できるような交通ネットワークの構築と市民の暮らしの充実につながる調和のとれた都市景観の形成や、身近で緑が感じられる環境づくりに取り組む</u>こととしています。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	6 都市・交通	政策	01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します 02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します 03 安心とるおいのある住環境の整備の整備を推進します 04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	6 都市・交通						
政策	01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します 02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します 03 安心とるおいのある住環境の整備の整備を推進します 04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します						
<p><b>(1) 外部評価の結果</b>  <b>イ 市が求めていく「質」について</b>            市民一人一人の価値観が違う中で、<u>これから市が求めていく「質」とは何かを改めて議論し、具体化していかなければならない。</u>そのうえで、継続可能な施策や事業を市民や民間企業等と協働により進めていくべきである。</p>	<table border="1" data-bbox="762 1323 1458 1603"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>6 都市・交通</td> </tr> <tr> <td>政策</td> <td>01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します 02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します 03 安心とるおいのある住環境の整備の整備を推進します 04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b>  <u>本市が目指す「快適で質の高いまち」は、誰もが暮らしやすく、自分らしく輝くことのできる社会</u>であり、その実現を目指して3次総では、市民主体のまちづくりという視点から事業を推進していきます。            そのため、「都市・交通」分野が持つ4つの政策のうち、3つで市民アンケートの結果を指標とします。            また、多様な知識と経験を持つ市民や民間企業と行政が、それぞれの役割を理解した上で共に事業を進めていくため、「<u>都市・交通</u>」分野では、<u>多くの主要事業を民間と協働で行う</u>こととしています。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	6 都市・交通	政策	01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します 02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します 03 安心とるおいのある住環境の整備の整備を推進します 04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	6 都市・交通						
政策	01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します 02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します 03 安心とるおいのある住環境の整備の整備を推進します 04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します						

**(2) 今後に向けて**

**ア ソフト事業の継続的な実施について**

賑わいや交流を作り出していくためには、自然や文化、歴史を連携させ、ネットワーク化していくことが重要であり、一過性のイベントだけではなく、静岡市の地域資源を連携させたソフト事業を継続的に行っていく必要がある。

特に、若い人の力は大きいため、若者を惹きつける教育やカルチャーの充実を図り、交流人口の増加につなげていくべきである。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	1 観光・交流 4 文化・スポーツ 6 都市・交通

**【反映内容】**

3次総では、「観光・交流」、「文化・スポーツ」、「都市・交通」の3つの分野で、計画期間を通して、自然や文化、歴史などの地域資源を相互に連携させ、賑わいや交流を作り出していくこととしています。

「観光・交流」分野では、ホビー、三保松原、南アルプス、徳川家康公、まぐろ、お茶、オクシズ、スポーツなどに関する地域資源を活用して観光の推進に取り組みます。

また、「文化・スポーツ」分野では、歴史、文化、スポーツを通じた情報発信や国内外の人々との交流において地域資源を連動させるとともに、大型文化事業の誘致や市民参加の文化事業の推進、生涯学習事業などで、様々な世代を対象とした事業に取り組みます。

「都市・交通」分野では、住民や教育機関などが主体となって良好な環境や地域の価値を維持・向上させるエリアマネジメント等を進めるなかで、地域資源を効果的に連動させ、活用していきます。

**(2) 今後に向けて**

**イ 生活者起点の考え方について**

日本はこの 20 年間、「便利、簡単、気持ちいい」を追い求めてきたが、これらは全て消費者的視点である。

その前に、生きることの原点として「働くこと」や「命を守ること(医療・保健)」、「教育・文化」などについての視点が必要であり、これらは「快適で質の高いまち」を実現することに寄与するとともに、定住人口を増加させると考えられる。

賑わいについては、集客だけでなく、生活者起点の考え方を政策に取り入れていくべきである。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	6 都市・交通

**【反映内容】**

本市が目指す「快適で質の高いまち」は、誰もが暮らしやすく、自分らしく輝くことのできる社会であり、その実現には生活者起点の考え方が重要な要素となります。

そのため、3次総では、多くの主要事業を民間と共に進めていくこととしており、特にエリアマネジメントの推進などでは、多様な知識と経験を持つ市民と行政がそれぞれの役割を理解した上で、その地域に生活する人々の視点によるまちづくりを進めていきます。



## 施策①「コンパクトで持続可能な賑わいと交流・連携のある都市づくり」(報告書30頁)

外部評価委員からの提案・意見	反映状況						
<p><b>(1) 外部評価の結果</b></p> <p><b>ア 市の目指すもの、関わりについて</b></p> <p>これまではハード整備を進めてきたが、今後、目指す「賑わいと交流・連携のある都市」を実現していくためには、ソフト事業に力を入れていかなければならない。</p> <p>そのためには、<u>市は具体的にどのようなまちを目指し、その実現にどのように関わっていくのかを考えていく必要がある。</u></p>	<table border="1" data-bbox="775 315 1455 573"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>6 都市・交通</td> </tr> <tr> <td>政策</td> <td>01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します 02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します 03 安心とうるおいのある住環境の整備を推進します 04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>3次総では、「快適で質の高いまちの拠点と交通環境を充実させ、<u>新たな交流と活力を生み出すまち</u>」の実現を目指しています。</p> <p>その実現のために、まちの顔である中心市街地や駅周辺の整備、草薙地区などの地域拠点の整備、日本平などの交流拠点の整備に加え、市内の住環境や交通環境を充実させていく必要がありますが、<u>従来からのハード整備とともに「歩いて楽しいまちづくり推進事業」や「良好な都市景観の形成事業」などのソフト事業を多様な主体により進め、地域の魅力と活力を高めるまちづくりを進めていきます。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	6 都市・交通	政策	01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します 02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します 03 安心とうるおいのある住環境の整備を推進します 04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	6 都市・交通						
政策	01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します 02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します 03 安心とうるおいのある住環境の整備を推進します 04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します						
<p><b>(2) 内部評価に対する意見</b></p> <p><b>ア 今求められている「賑わい」について</b></p> <p>歩行者通行量を「賑わい」の指標としているが、これは伝統的な「賑わい」であって、インターネットの活用が活発になり、消費行動などが多様化している今の「賑わい」は、別にあるのではないかと考える。</p> <p>今求められている「賑わい」とは何か、「賑わい」づくりのために具体的に何をしていくのかを、市は中心市街地の当事者である商業関係者、地域の団体やNPO法人、消費者等と十分に話し合い、<u>施策を進めていくべきである。</u></p> <p>この際、行政は、主導的に動くのではなく、サポートする立場で関わるのが望ましい。</p>	<table border="1" data-bbox="775 1155 1455 1435"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>6 都市・交通</td> </tr> <tr> <td>政策</td> <td>01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します 02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します 03 安心とうるおいのある住環境の整備を推進します 04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>3次総では、<u>多様な主体による地域づくり、いわゆる新しい公共を念頭に事業を推進していくこと</u>としています。</p> <p>そのため、呉服町や七間町の市街地再開発、草薙駅周辺でのエリアマネジメントなど様々な事業で、地域の当事者である<u>商業関係者や地域の団体、NPO法人等と、「賑わい」を含め、どのようなまちをつくっていくのかを議論し、事業を進めていくこと</u>としています。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	6 都市・交通	政策	01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します 02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します 03 安心とうるおいのある住環境の整備を推進します 04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	6 都市・交通						
政策	01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します 02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します 03 安心とうるおいのある住環境の整備を推進します 04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します						

(3) 今後に向けて

ア 様々な手段で移動できる交通網について

これからの中心市街地の活性化には、自動車中心ではなく、公共交通機関や自転車、徒歩など、様々な手段で街を移動できる交通網を整備することが必要と考  
える。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	6 都市・交通
政策 (施策)	01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します (施策)
	02 歩いて楽しめる都市空間の創造
	04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進 します (施策)
	01 拠点を結ぶ円滑な公共交通 02 公共交通が利用しやすい環境の充実 03 安全で快適に自転車が利用できる環境の整備

【反映内容】

3次総の「都市・交通」分野では、自動車に過度に頼らない交通体系の構築を念頭に、「歩いて楽しめる都市空間の創造」や「拠点を結ぶ円滑な公共交通」、「公共交通が利用しやすい環境の充実」、「安全で快適に自転車が利用できる環境の整備」の4つの施策を掲げています。

これらの施策を推進することで、鉄道、バス、自転車、徒歩による安全で利用しやすい交通環境を充実させ、都心での回遊性、賑わい、交流機能の向上を図ることとしています。

(3) 今後に向けて

イ 観光資源の活用について

静岡市には徳川家康公以外にも、浅間神社、駿府城公園、日本平、三保松原など、全国から人を呼ぶ魅力のある観光資源が多くあることから、これらを連動させ、中心市街地の活性化に活用するよう取り組んでほし  
い。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	6 都市・交通
政策 (施策)	01 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造を推進します (施策)
	02 歩いて楽しめる都市空間の創造
	02 地域の魅力と活力を高めるまちづくりを推進します (施策)
	02 大規模社会資本や観光資源を活かした交流拠点の整備
04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進 します (施策)	01 拠点を結ぶ円滑な公共交通 02 公共交通が利用しやすい環境の充実 03 安全で快適に自転車が利用できる環境の整備

【反映内容】

3次総は「歴史文化のまち」を目指す都市像に掲げ、駿府城公園や三保松原など歴史や文化に関する地域資源を個性豊かな地域社会の実現や都市の発展などに活用していくこととしています。

そのためには、都心・副都心や地域拠点、交流拠点と個々の地域資源を結びつけ、来る人に回遊性を持たせることが重要となります。

「都市・交通」分野では、これらを踏まえ、歩いて楽しいまちづくり推進事業や自転車走行空間ネットワーク整備事業など回遊性を高める事業を進めていくこととしています。

## 施策②「公共交通や自転車を活用したアクセスしやすい都市づくり」(報告書32頁)

外部評価委員からの提案・意見	反映状況						
<p><b>(1)外部評価の結果</b></p> <p><b>ア 道路網の整備について</b></p> <p>道路網の整備に関しては、これまで自動車のための道路整備を進めてきたが、これからは<u>自転車や歩行者の安全性と利便性を高める整備に注力していくことが必要である。</u></p> <p>特に、<u>子ども、高齢者、障がい者等の交通弱者に優しい道路整備</u>に力を入れるべきである。</p>	<table border="1" data-bbox="775 315 1453 555"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>7 社会基盤</td> </tr> <tr> <td>政策</td> <td>01 地域連携や交流の拡大に貢献する道路の整備と活用を推進します 02 道路利用者の安全性・快適性の向上のため、道路環境の改善を推進します</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>3次総では、進展する高齢化社会や多発する交通事故に対応するため、<u>誰もが安全で快適に利用できる道路環境の整備を進めます。</u></p> <p>そのため「社会基盤」分野では、通学路を対象とした交通安全施設整備事業や自転車走行空間ネットワーク整備事業、バリアフリー道路特定事業など<u>利用者の交通機能の充実や安全確保に関する事業を進めること</u>としています。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	7 社会基盤	政策	01 地域連携や交流の拡大に貢献する道路の整備と活用を推進します 02 道路利用者の安全性・快適性の向上のため、道路環境の改善を推進します
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	7 社会基盤						
政策	01 地域連携や交流の拡大に貢献する道路の整備と活用を推進します 02 道路利用者の安全性・快適性の向上のため、道路環境の改善を推進します						
<p><b>(2)内部評価に対する意見</b></p> <p><b>ア 施策の指標について</b></p> <p>「住みやすく便利な暮らしができていと思う市民の割合」という指標は、この施策の指標としては範囲が広すぎるため、<u>公共交通網や自転車道の整備による住みやすさなどに限定しなければ、施策の達成を確認することはできない</u>と考える。</p>	<table border="1" data-bbox="775 969 1453 1120"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>6 都市・交通</td> </tr> <tr> <td>政策</td> <td>04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>3次総の「都市・交通」分野では、公共交通や自転車のアクセスに関する政策として「<u>多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します</u>」を掲げ、その<u>指標は「公共交通や自転車で移動がしやすいと思う市民の割合」と</u>しました。</p> <p>また、施策として「<u>拠点を結ぶ円滑な公共交通</u>」など3点を掲げ、その指標としては「<u>公共交通機関の利用者数</u>」などを設定しています。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	6 都市・交通	政策	04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	6 都市・交通						
政策	04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します						
<p><b>(3)今後に向けて</b></p> <p><b>ア 自転車の活用について</b></p> <p>アクセスしやすい都市づくりを考えると、これからは環境にもやさしい自転車の活用に力を入れていく必要がある。</p> <p><u>自転車道ネットワークの整備を推進し、これを完成させるとともに、積極的に駐輪場の整備を進め、静岡駅前などの歩道の混雑を解消していくべきである。</u></p>	<table border="1" data-bbox="775 1514 1453 1771"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>6 都市・交通</td> </tr> <tr> <td>政策(施策)</td> <td>04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します (施策) 02 公共交通が利用しやすい環境の充実 03 安全で快適に自転車を利用できる環境の整備</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【反映内容】</b></p> <p>3次総では、<u>自転車の利用促進を図るとともに、安全で快適に自転車を利用できる環境の整備を進めていくことを</u>念頭に、サイクル&amp;バスライド駐車場の整備や自転車利用計画推進事業、自転車走行空間ネットワーク整備事業などを進め、<u>自転車利用の促進や安全啓発、自転車レーン等の充実を図っていきます。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	6 都市・交通	政策(施策)	04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します (施策) 02 公共交通が利用しやすい環境の充実 03 安全で快適に自転車を利用できる環境の整備
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	6 都市・交通						
政策(施策)	04 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します (施策) 02 公共交通が利用しやすい環境の充実 03 安全で快適に自転車を利用できる環境の整備						

**(3) 今後に向けて**

**イ ルールづくりとマナーの向上について**

これまではハードの整備を主体としてきたが、施策目的の実現のためには、今後、ソフト事業にも力を入れていくべきであり、警察と協力して、自転車や歩行者のルールづくりやマナー向上に取り組んでほしい。

反映した3次総の分野・政策・施策

分野	6 都市・交通
政策 (施策)	03 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します (施策) 03安全で快適に自転車が利用できる環境の整備

**【反映内容】**

3次総の「都市・交通」分野では、自転車利用計画推進事業を進めることとしており、この中で自転車利用の促進、安全啓発、自転車都市のPR等を行うこととしています。

また、市では静岡市交通安全計画を定めており、このなかで、自動車だけでなく自転車や歩行者に対する安全やマナーの啓発について検討、実施していきます。

## (5) 戦略Ⅲ－3 魅力あふれる中山間地域活性化プロジェクト

### 政策「山村と都市が共生・共有するまちの実現」（報告書36頁）

外部評価委員からの提案・意見	反映状況						
<p><b>(1) 外部評価の結果</b>  <b>ア 市民・企業等との協力について</b>  生活保護費等の社会保障関係費が年々増加するなど、厳しい財政状況が今後も続くと見込まれることから、<u>中山間地域を活性化するには、行政だけでなく市民・企業等と協力し、市が一体となって進めることが重要である。</u></p>	<table border="1" data-bbox="746 409 1453 506"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">反映した3次総の分野・政策・施策</td> </tr> <tr> <td>分野</td> <td>2 農林水産</td> </tr> </table> <p>【反映内容】  3次総では、<u>静岡市オクシズ地域おこし条例に基づき、市民・事業者・市それぞれがオクシズの価値を再認識し、一体となって地域を育み、活性化していきます。</u>  <u>新たな価値や需要の掘り起こし、人材や組織の育成、生産基盤の確保、地域資源の磨きあげの4つの政策を柱に、「農林水産」分野では、民間と協働で行うことにしています。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	2 農林水産		
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	2 農林水産						
<p><b>(1) 外部評価の結果</b>  <b>イ 事業の優先順位付けについて</b>  中山間地域の活性化には、<u>産業振興（農林・観光）、定住・移住促進、環境保全など、様々な側面があるため、社会経済情勢や限られた財源であることを勘案し、焦点を絞り、優先順位をつけるなど、効果的に実施していただきたい。</u></p>	<table border="1" data-bbox="746 902 1453 999"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">反映した3次総の分野・政策・施策</td> </tr> <tr> <td>分野</td> <td>2 農林水産</td> </tr> </table> <p>【反映内容】  3次総の策定にあたっては、中山間地域の持つ様々な課題や可能性の中から必要性・優先順位を勘案して、<u>農林水産業者の所得向上、地域活力の向上、農林水産業の持つ公益的機能の維持を最終的な目的とし、これらを効果的に実現する政策、施策、主要事業を設定しました。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	2 農林水産		
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	2 農林水産						
<p><b>(2) 今後に向けて</b>  <b>ア 地域資源の再認識と発信について</b>  中山間地域の特性を最大限に活用するには、恵まれた地域資源（自然環境、農作物、歴史・文化等）を広く周知し、その魅力をPRすることが重要である。  特に、地元地域においては、ごく自然なモノでありながら、他の地域にとっては、非常に貴重な地域資源であるモノも数多く存在すると考えられるため、<u>自らの地域資源を再認識し、その価値を積極的に発信することで、地域活性化に繋げていくことが重要である。</u></p>	<table border="1" data-bbox="746 1395 1453 1671"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">反映した3次総の分野・政策・施策</td> </tr> <tr> <td>分野</td> <td>2 農林水産</td> </tr> <tr> <td>政策（施策）</td> <td>04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します  01 地域資源を活かした新しい産業の創出  02 地域資源を活かした交流の推進</td> </tr> </table> <p>【反映内容】  3次総では、<u>地域資源を再確認し、地域を活性化させる新たな需要や産業に結び付けていくため、オクシズ在来作物の活用促進事業や南アルプス登山道整備事業、オクシズスポーツツーリズムの推進事業などを進めるとともに、オクシズプロモーションの推進事業によりオクシズHPでの情報発信や新東名SAを活用した情報発信を実施していきます。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	2 農林水産	政策（施策）	04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します 01 地域資源を活かした新しい産業の創出 02 地域資源を活かした交流の推進
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	2 農林水産						
政策（施策）	04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します 01 地域資源を活かした新しい産業の創出 02 地域資源を活かした交流の推進						

**(2) 今後に向けて**

**イ 生活環境の整備について**

中山間地域における「高齢化の進行」や「若者の流出」に対処し、「交流人口の増加」、「定住・移住の促進」を図るには、情報通信網や公共交通機関等の整備も重要な環境整備の要素となる。

そこで、市民ニーズと費用対効果等を十分考慮した上で、民間企業と一体となって生活環境整備を検討・推進していくことが重要であると考える。

反映した3次総の分野・政策・施策

分野	2 農林水産
政策	04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します

**【反映内容】**

3次総では、政策として「多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進する」ことを掲げ、この中でおらんとこのこれ一番事業などの地域資源を活かした新しい産業の創出、オクシズスポーツツーリズムの推進事業などの交流の促進、野生鳥獣被害対策の推進事業などによる生活基盤の安定化等を、地域住民や団体、民間企業と協働で進め、定住・移住者の増加を図っていきます。

また、中山間地における生活環境向上のため、情報インフラや道路インフラの整備を進めるとともに、井川地区自主運行バスなどの地元交通機関確保に向けた事業を実施していきます。

## 施策①「既存住民の定住支援と集落の活性化」(報告書38頁)

外部評価委員からの提案・意見	反映状況						
<p><b>(1)外部評価の結果</b></p> <p><b>ア 将来的なビジョンについて</b></p> <p>施策を構成する主要事業が各々、独立しており、一連性に欠けることから、最終的な施策の到達点(既存住民数の確保・雇用の確保・交流人口の増加・経済活動の活性化等)が分かりにくく、達成度を図ることが非常に困難である。</p> <p>今後は、<u>施策の将来的なビジョンを掲げるとともに、その施策を実現するための主要事業を整理した上で、定住支援と集落の活性化に向けた取組を実施する必要がある。</u></p>	<table border="1" data-bbox="746 315 1453 663"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>2 農林水産</td> </tr> <tr> <td>政策(施策)</td> <td>04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します (施策) 01 地域資源を活かした新しい産業の創出 02 地域資源を活かした交流の推進 03 安心・安全な地域環境の整備 04 豊かな農林水産資源保護の推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>【反映内容】</p> <p><u>静岡市オクシズ地域おこし条例では、オクシズの振興にかかる基本理念を定めており、3次総では、この理念に基づき、多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進することを政策に掲げ、この政策の持つ4つの施策により移住の促進を進めていくこととしています。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	2 農林水産	政策(施策)	04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します (施策) 01 地域資源を活かした新しい産業の創出 02 地域資源を活かした交流の推進 03 安心・安全な地域環境の整備 04 豊かな農林水産資源保護の推進
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	2 農林水産						
政策(施策)	04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します (施策) 01 地域資源を活かした新しい産業の創出 02 地域資源を活かした交流の推進 03 安心・安全な地域環境の整備 04 豊かな農林水産資源保護の推進						
<p><b>(2)内部評価に対する意見</b></p> <p><b>ア 施策の指標について</b></p> <p>事業の結果が、アンケートだけで判断されるのは疑問である。<u>アンケート以外に別の指標を設定することが必要である。</u></p> <p>住みやすさや便利という表現は抽象的で、何ををもって「住みやすい」「便利」と感じるかは、個々の判断によるものなので指標としてはどうか。</p> <p><u>現在の指標では、客観的な判断が難しいため、定量的に図ることができる指標を設定したらどうか。</u></p>	<table border="1" data-bbox="746 1014 1453 1290"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>2 農林水産</td> </tr> <tr> <td>政策</td> <td>01 新たな価値や需要を掘り起こし、市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランドを推進します 02 産業・産地を担う人材・組織の育成を推進します 03 次世代へ自信を持って継承できる生産基盤の確保を推進します</td> </tr> </tbody> </table> <p>【反映内容】</p> <p>3次総では、既存住民の定住支援と集落の活性化を目的とした政策として「新たな価値や需要を掘り起こし、市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランドの推進」や「産業・産地を担う人材・組織の育成」、「次世代へ自信を持って継承できる精算基盤の確保」を掲げており、それぞれの指標としてアンケート結果のほか「新規就農者数」や「農道、林道の開設整備率」を設定しています。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	2 農林水産	政策	01 新たな価値や需要を掘り起こし、市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランドを推進します 02 産業・産地を担う人材・組織の育成を推進します 03 次世代へ自信を持って継承できる生産基盤の確保を推進します
反映した3次総の分野・政策・施策							
分野	2 農林水産						
政策	01 新たな価値や需要を掘り起こし、市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランドを推進します 02 産業・産地を担う人材・組織の育成を推進します 03 次世代へ自信を持って継承できる生産基盤の確保を推進します						

**(3) 今後に向けて**

**ア 若者の雇用の場の創出について**

若者の流出による人口減少は地域活性化の低下を招いており、その原因としては、生業とする仕事場が少ないことが挙げられるが、施策を構成する主要事業には課題解決に向けた取組が含まれていない。

今後は当施策を推進するための取組として、市内外の教育機関(高等学校・大学等)とタイアップし、農業・林業の後継者育成プロジェクトを検討するなど、若者の雇用の場を創出するとともに、人口減少対策にも取り組んでいただきたい。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	2 農林水産
政策	01 新たな価値や需要を掘り起こし、市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランドを推進します 02 産業・産地を担う人材・組織の育成を推進します 04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します

**【反映内容】**

3次総では、政策として「産業・産地を担う人材・組織の育成推進」を掲げており、この中で、農業経営講座事業や農業中間管理事業など、多様な担い手の育成や拡大を目指す農林業者の育成支援を行っていきます。

また、雇用の場を創出するため、6次産業化等の取組みに助成するふるさと農力チャレンジ事業や中山間地活性化の推進事業を進め、移住者の増加につなげていきます。

**(3) 今後に向けて**

**イ 地場産品等の認知度の向上について**

地場産品や観光資源等を周知し、販売や集客に繋げていくためには、当地や類似地域におけるケーススタディを行い、アイデアを十分練るとともに、行政からの一方的な情報発信ではなく、地元や企業と協力し、効果的で効率的なプロモーション活動を展開するなど認知度を高めることが必要である。

また、地場産品については、中心市街地で定期的かつより頻繁に販売する方策を検討し、中山間地域の安定的経済活動促進の一環として推進していただきたい。

分野	2 農林水産
政策(施策)	01 新たな価値や需要を掘り起こし、市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランドを推進します(施策) 05 6次産業化の推進等による新たな価値の創出 04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します(施策) 01 地域資源を活かした新しい産業の創出

**【反映内容】**

3次総では、効果的で効率的なプロモーション活動のため、オクシズプロモーションの推進事業により、HPでの情報発信のほか、来静者の利用が期待される新東名のSA等でも施設運営会社と連携しながらプロモーションを行うとともに、静岡の農作物を世界に向けてPRするため、ミラノ国際博覧会出店事業を実施することとしています。

また、地場産品については、中心市街地で定期的かつより頻繁に販売する方策の検討を進めるとともに、「オクシズ在来作物」の試食会などのイベントもを行い、安定的経済活動の足掛かりを検討していきます。



**(3) 今後に向けて**

**ウ 森林・環境保護について**

中山間地域の特性である森林は、資源として木材や農林産物を生産する場であるとともに、土砂災害等を防止する国土保全機能、渇水や洪水を緩和しながら、良質な水を育む水源涵養機能など、市民が安全で快適な生活を送るために欠かせない機能を有していることから、今後も森林のもつ「公益的機能」を絶やすことがないよう、森林・環境保護に積極的に努める必要がある。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	2 農林水産
政策	01 新たな価値や需要を掘り起こし、市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランドを推進します

**【反映内容】**

3次総の「農林水産」分野では、農林水産業の持つ公益的機能の維持を目的の一つとしており、水源涵養機能を持つ森林については、いきいき森林づくりの推進事業により間伐、作業道開設や林業生産設備助成等を行っています。

また、市産材の活用促進を図るため、新築住宅への市産材提供や公共建築物の木造化を進めます。

**(3) 今後に向けて**

**エ 交通インフラの活用について**

新東名高速道路の開通は、今後も中山間地域の活性化に大きな効果が期待できるため、その活用方法を十分検討し、経済効果と賑わい創出に繋げていくことが重要である。

また、サービスエリアには地場産品を多く取り揃え、交通インフラを活用した経済活動を促進していただきたい。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	2 農林水産
政策	04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します

**【反映内容】**

3次総では、来静者の多くが利用する新東名高速道路をオクシズ等の地域活力の強化に役立てていくため、オクシズプロモーションの推進事業において、施設運営会社と連携しながら経済活動につながるプロモーションをサービスエリア等で行っていきます。

## 施策②「新たな住民の移住促進」(報告書40頁)

外部評価委員からの提案・意見	反映状況							
<p><b>(1) 内部評価に対する意見</b></p> <p><b>ア 施策の指標について</b></p> <p>新たな移住促進の施策に対し、「<u>南アルプスの自然・景観を誇れると思う市民の割合</u>」は、指標として適していないと考えられるため、今後、検討いただきたい。</p>	<table border="1" data-bbox="746 315 1455 483"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>2 農林水産</td> </tr> <tr> <td>政策</td> <td>04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します</td> </tr> </tbody> </table> <p>【反映内容】</p> <p>3次総の「農林水産」分野では、新たな住民の移住を目的とした政策として「多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します」を掲げており、その指標としては「<u>移住世帯数</u>」を設定しています。</p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	2 農林水産	政策	04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します	
反映した3次総の分野・政策・施策								
分野	2 農林水産							
政策	04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します							
<p><b>(2) 今後に向けて</b></p> <p><b>ア 安定的経済活動支援策の検討について</b></p> <p>中山間地域に新たな住民を移住・定住させるには、若者が生業を持ち、さらに結婚や子育てができる環境を整える必要があるが、経済的な事情や同世代の人口が非常に少ないことも、中山間地域への移住が進まない一つの要因として考えられる。</p> <p>一定の条件は必要だが、<u>移住・定住に係る若者への安定的経済活動支援策を検討し、若者世代を積極的に採り入れるよう取り組むとともに、市街地との地域間格差を解消するため、市内からの移住を優先的に進めることも検討いただきたい。</u></p>	<table border="1" data-bbox="746 779 1455 1249"> <thead> <tr> <th colspan="2">反映した3次総の分野・政策・施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野</td> <td>2 農林水産</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">政策(施策)</td> <td>02 産業・産地を担う人材・組織の育成を推進します(施策) 01 時代を担うビジネス感覚豊かで多様な担い手の育成・確保 02 農林水産業を成長産業にする新しい経営体の育成支援</td> </tr> <tr> <td>04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します(施策) 02 地域資源を活かした交流の推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>【反映内容】</p> <p>3次総では、青年就農の促進事業や担い手育成支援事業、アグリチャレンジパーク蒲原の運営事業など、<u>新規就農者等に対する技術的、経済的支援を実施するとともに、中山間地活性化の推進事業により、移住の働きかけを行っていきます。</u></p> <p>また、移住・定住にかかる経済活動支援策として、<u>移住者用の住宅改修補助金や移住奨励金により、一時的な経済支援を行います。</u></p>	反映した3次総の分野・政策・施策		分野	2 農林水産	政策(施策)	02 産業・産地を担う人材・組織の育成を推進します(施策) 01 時代を担うビジネス感覚豊かで多様な担い手の育成・確保 02 農林水産業を成長産業にする新しい経営体の育成支援	04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します(施策) 02 地域資源を活かした交流の推進
反映した3次総の分野・政策・施策								
分野	2 農林水産							
政策(施策)	02 産業・産地を担う人材・組織の育成を推進します(施策) 01 時代を担うビジネス感覚豊かで多様な担い手の育成・確保 02 農林水産業を成長産業にする新しい経営体の育成支援							
	04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します(施策) 02 地域資源を活かした交流の推進							

(2) 今後に向けて

イ 中山間地域のプロモーションについて

中山間地域には、公共施設以外に魅力ある民間企業や施設が多く存在している。

官民連携という観点で、民間企業も含めて中山間地域のプロモーションを実施するなど、より一層、効果的な事業とするよう努める必要がある。

分野	2 農林水産
政策 (施策)	01 新たな価値や需要を掘り起こし、市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランドを推進します (施策)
	05 6次産業化の推進等による新たな価値の創出 (施策)
	04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します (施策)
	01 地域資源を活かした新しい産業の創出

【反映内容】

3次総では、中山間地域の効果的なプロモーション活動のため、オクシズプロモーションの推進事業により、HPでの情報発信のほか、来静者の利用が期待される新東名のSA等でも施設運営会社と連携しながらプロモーションを行うとともに、静岡の農作物を世界に向けてPRするため、ミラノ国際博覧会出店事業を実施することとしています。

(2) 今後に向けて

ウ オクシズ全体の事業展開について

交流人口が減少している原因として、オクシズ全体の魅力ある事業展開が少ないことを挙げているが、これらの課題解決のための具体策が乏しいことから、住民ニーズを適確に把握した上で、施策の方向性を定め、集客力のある具体的な事業を実施していただきたい。

反映した3次総の分野・政策・施策	
分野	2 農林水産
政策	04 多彩な地域資源を磨きあげ、オクシズ等の地域の活力強化を推進します

【反映内容】

3次総では、静岡市オクシズ地域おこし条例に基づき、オクシズの振興にかかる基本理念を実現するため、オクシズ地域おこし計画を定めて、事業を実施していきます。

オクシズプロモーションの推進事業によりオクシズの情報を効果的に発信していくとともに、オクシズのブランド化に取り組みます。

また、オクシズスポーツツーリズムの推進事業(玉川トレイルレース、井川もみじマラソン)やオクシズ在来作物の活用推進事業などを行い、集客の向上を図ります。